

時実利彦 <敗戦>後の日本の脳生理学興隆の中心となり、初めて"脳死判定"基準をまとめ、啓蒙的著作も多い。

ときざねとしひこ

伊藤博文暗殺1909 = 岡山県和気郡に生まれる。

明治天皇没・1912 = 3歳 :

本格政党内閣1918 = 9歳 :

原敬首相暗殺1921 = 12歳 :

金融恐慌・・1927 = 18歳 :

満州事変・・1931 = 22歳 :

帝人疑獄事件1934 = 25歳 : _東京帝国大学医学部卒業後、生理学教室に入り、橋田邦彦の指導のもとに日本語母音の解析を始める。

二二六事件・1936 = 27歳 :

日中戦争始・1937 = 28歳 :

その後、筋肉運動の研究に入り、

日米開戦・・1941 = 32歳 :

敗戦・・・・1945 = 36歳 : _東大付属医学専門部教授になって、生理学を教える。

朝鮮戦争始・1950 = 41歳 : 退任し、以後、医学部講師、

独立回復・・1951 = 42歳 : 筋電図研究会を組織。_筋電計の国産第1号を試作。

助教授を経て、

自衛隊発足・1954 = 45歳 : *アメリカに留学し、実験生理学の手法を導入、第二次大戦後の日本の脳生理学興隆の中心となる。

55年体制始・1955 = 46歳 : 筋電図研究会を筋電図学会と改称。

国連加盟・・1956 = 47歳 : _東大付属脳研究施設教授に就任し、

安保闘争・・1960 = 51歳 :

全国総合計画1962 = 53歳 : _同所長となる。「脳の話」で、

TV宇宙中継始1963 = 54歳 : *毎日出版文化賞。

美濃部都知事1967 = 58歳 : 京大霊長類研究所教授を兼任。

霞ヶ関ビル・1968 = 59歳 : 「脳と人間」。_和田寿郎による心臓移植手術を契機に、日本脳波学会"脳波と脳死に関する委員会"の委員長になり、

大阪万博・・1970 = 61歳 : *脳死判定の厳密な基準をまとめて、

ドルショック・・1971 = 62歳 : この年、筋電図学会が日本脳波学会と合同、日本脳波・筋電図学会となる(のち日本臨床神経生理学会)。

日中国交回復1972 = 63歳 :

石油ショック1973 = 64歳 : _没した。